

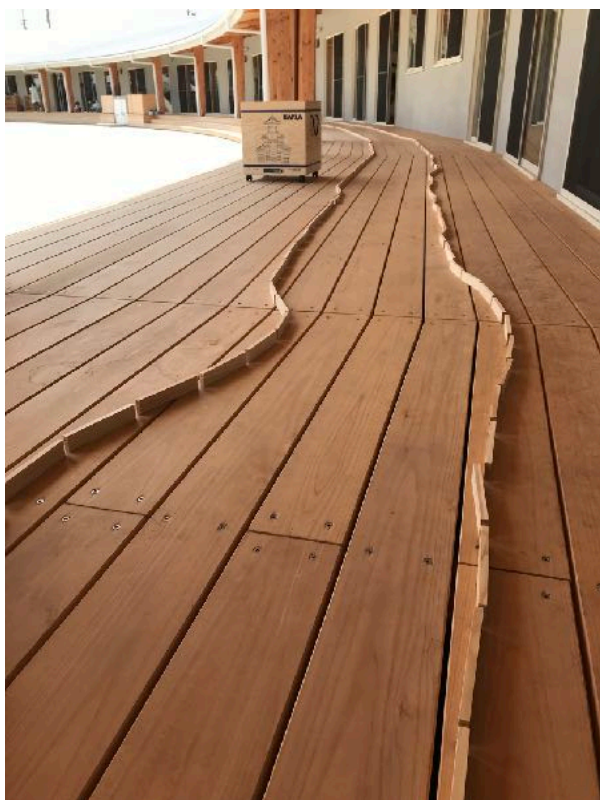
8 月号

ひだまり

わかくさこども園



2022.7.27



朝から縁側にカプラ（積み木）を出し、
きれいに並べ始めたみそらのIくん。

「何を作っているの？」
「わからないけど、まだ途中なの」

お昼ご飯を食べてから、また続きが始まる。
カプラはどんどん、長くなる。

それを見ていた友だちも二人加わった。
どんどんどんどん、長くなる。

完成してから、呼びにきてくれた。

「何を作ったの？」
「ながいへび！」

ながい縁側を大胆に使った、
大作のできあがりです。

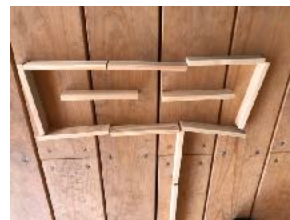
ながいへび (2022.7.21)

* ながいへびデータ *

全長：約85メートル

素材：カプラ1000枚

生態：目をつむって寝ていることが多いらしい



先頭にあるへびの顔



8月の予定

4日（木）避難訓練

【幼稚園】

29日（月）～9月1日（木）午前保育

なんでもない日の、子どもたちのこと

わかくさの今とこれから。子どもたちのことを思いつくまに。

園長 習田 和正



保育園と幼稚園

毎日暑いですね。幼稚園のみんな、元気に夏休みを過ごしていますか。わかくさは、保育園よりも幼稚園の子の方が多いので、みんながいなくなると、園が一気に静かになったように感じます。

また来月、たくさんの思い出話と一緒に元気な顔を見せてくれること、楽しみにしていますね。

今更の話になるかもしれませんが、「こども園」は、保育園と幼稚園の子どもと一緒に生活する施設です。国がこの制度が始めてもう16年になりますが、こども園がどんな施設か、よく知らない人もまだ多いような気がします。子どもを預ける施設には、大きく「保育園」と「幼稚園」がある。そして、こども園はその二つが同じ場所にあるので、子育てをスタートする方にとっては、少しややこしい話かもしれません。ですが、保育園と幼稚園で全く違うことをしているかというところでもなく、少なくともわかくさでは、どちらの子も同じ輪の中で同じ活動をしています。

確かに、保育時間や仕組みには違いがあるので、バスで来る子もいれば、お昼寝をする子もいるし、夏休みがある子もいれば、ない子もいます。その違いを不満に

思ったり、羨ましがったりすることもあります。そのことで、いつまでも友だちを批難したり区別したりするようなことはしません。違いはすぐに子どもたちの日常になります。なぜなら、子どもにとってはそこにこだわるより、“今を楽しむこと”の方が、ずっと切実で、重要な問題だからです。

というわけで、夏休みが始まってしばらくは寂しがっていた保育園の子どもたちも、普段とは違うこども園を楽しみ始めています。園庭や縁側を広々と使い、いつもよりたくさんのおもちゃを出し、先生たちを独り占め。特別な毎日を、元気に過ごしています。

七夕に願いを込めて

こども園になって初めての七夕がやってきました。毎年、竹林を持っている地域の方が立派な竹をくださるので、今年はその竹をエントランスギャラリーに飾り、みんなが七夕をすることにしました。

さて、子どもたちとどうやって七夕の日を迎えるか、各クラス知恵を絞ります。こむぎは指スタンプを使ってすいかの飾り作り。子どもたちも初めて出会うスタンプの感触と、すいかの黒い種が増えていく様子を楽しみました。ゆずははコーヒーフィル



ターと水性ペンを使った染め物に挑戦。おりひめとひこぼしの素敵な洋服ができました。

ももはなは、使えるようになったばかりの筆を使い、自分の好きな味のかき氷を絵の具で描きます。ふじとみそらは、テープと折り紙で輪っかの飾りを作り、飾り付けの仕上げを担当してくれました。みそらはなるべく、短冊の願い事も自分で書いてみました。

(エントランスでの短冊を書きにご協力いただいた保護者の皆さんも、ありがとうございました!)



残念ながら当日はお休みの子も多かったのですが、みんなで劇を見たり、特別ランチを食べたりして、年に1度の日を楽しみました。みんなの願い事、叶うといいな。

(七夕関連のその他の写真は、巻末のふおとこーなーにて)

55年間、ありがとう

旧園舎の解体工事が6月末をもって終了しました。跡地に行ってみると、もともとそこに園舎があったことがわからないくらい、もうまっさらです。

4月から始まった解体ですが、3ヶ月間、新園舎の園庭から子どもたちと一緒に工事の様子を見守ってきました。大事にしてきたものが無くなっていくさみしさを、大人だけでなく、子どもたちも感じながら、過ごしていたように思います。

昭和42年から55年間もの間、地域の子もたちを守り、育ててくれた若草幼稚園。長い間本当に、お疲れ様でした。



旧園舎跡地から新園舎を見る



お知らせ



* 地域に向けた子育て相談会が始まりました

子育て支援の一環として、月に1度、地域に向けた子育て相談会を行うことになりました。感染対策のため、時間と人数を制限し、6月からスタートしています。在園家庭のみなさんのご相談も随時受け付けていますので、何かありましたらお気軽にお声がけください。（担当：松岡、藤井）

* 廃材を集めています

幼児クラスでは1学期、制作活動の中でハサミやのり、テープなどの使い方を練習しました。2学期からはそれに加え、子どもたちが自分で作りたいものを作る制作の場を取り入れていきたいと思っています。制作に使う材料については、SDGsの観点からも「廃材」を利用していく予定です。以下、ご家庭で使用できそうな廃材があれば、園までお持ちいただけると嬉しいです。

< 廃材として望ましいもの >

牛乳パック、トイレットペーパーの芯、トレー、ゼリーやプリンのカップ、お菓子の箱など

※廃材は、子どもが扱いやすく、加工がしやすい、シンプルなもの望ましいです。お手数ですが、食品等が入っていたものは、よく洗い、乾燥させてからお持ちください。

* 園に新しい遊具がやってきました

園庭に「どろんこやまスライダー」、みんなの広場に「ぶらんこ&すべりだい」が新たに設置されました。みんなで使い始められるのは2学期からとなります。



※今月の「こども園たんけんたい」は休載します。

保健だより

猛暑が続いています。こどもたちは暑さの中でも夢中になって遊ぶので、水分の補給には十分に気を配りましょう。また夏休みは遠出される方も多いと思います。体調やけがに気をつけながら、楽しい夏の思い出をつくりましょう。

○夏休み中の過ごし方

1. 規則正しい生活をする

夏休みは生活リズムが乱れがちです。規則正しい生活ができないと体調を崩しやすくなるので、お休みの間も早寝早起きを心がけ、ご飯は3食きちんと食べましょう。また長時間での外遊びは控え、外遊びの際には帽子をかぶり日陰のある場所で遊びましょう。

2. 暑さ指数（WBGT）のチェック

環境省熱中症予防情報サイトを活用し、熱中症のリスクを確認してその日の活動を考慮し必要な対策を行いましょう。

3. こまめに水分を摂る習慣をつける

軽い脱水状態のときは喉の渇きを感じません。喉が渇く前、暑い所に出る前に水分補給をするように習慣づけましょう。起床後、就寝前、入浴前後にも水分補給をおすすめします。

4. 室内の温度の調節

外気温と室温の差が大きいと体の負担となります。エアコンや扇風機等で室温が28度を超えないよう調節しましょう。夜間の室温にも注意が必要です。服装もゆとりがあり通気性の良いものにしましょう。

5. 車内に子どもをひとりにしない

気温23度でも、車内は50度近くまで上昇します。車内で子どもが10分程度で重度の熱中症になった例もありますので、短時間でも車内に子どもを残すことはやめましょう。

6. 寝冷えに気をつけましょう

クーラーの使いすぎによる寝冷えが増えています。クーラーや扇風機の使い方や、服装や掛け物の調整にも気をつけましょう。



看護師・藤井 佑季



8月 保健の予定

10日（水） こむぎ・ゆずは 身体測定

※幼児クラスの次回の測定は9月となります。

わかかさこども園

wakakusa kodomoen